

# エアブラシ取り扱い上のトラブルについて

■ガンダムマーカージェアブラシは、簡単にエアブラシ塗装を楽しめるように設計されていますが、正しく扱わないとエアブラシ塗装ができない場合があります。「トラブルかな?」と思った時は、以下の項目をチェックしてください。

1. エアークが噴出されない
- エアークホースやバルブは正しく取り付けられていますか?  
エアブラシとエアーク缶をつなぐ、エアークホースやバルブがしっかりと取り付けられていないと、エアークが漏れてエアブラシが正しく作動しません。また、ジョイント部分からエアークが漏れると、エアークの無効な消費にもつながり、さらに漏れたガスが熱くなる原因にもなりますので、気をつけて確認してください。  
当分のジョイントは、必ず必ずすぐに接続し、最後までなじませてください。斜めにねじ込めるとジョイント部を破損し、隙間からエアークが漏れる原因になります。また、ジョイントをしっかり最後までなじませないと、内部に仕込まれたゴムパッキンが破損します。エアーク漏れを防止します。エアーク漏れは、高圧な空気の原因になりますので十分に注意してください。
  - エアークが折れかかったり、重いもの下敷きになって圧迫されていますか?  
エアークが折れかかったり、重いもの下敷きになって、重いもの下敷きになっていると、その部分が圧迫されてエアークの供給が止まってしまう場合があります。エアークホースの破損など事故につながる場合がありますので、折れ癖のないエアークホースを使用したり、エアークホースの上に物を置かないでください。

2. 作業中にエアークが冷くなった
- 連続使用でエアークが冷くなったいませんか?  
エアークの連続使用によって、エアークが冷かると、吹き付け塗面に必要なエアーク圧が得られなくなります。一度、作業を中断して、エアーク缶が常温になるまでお待ちください。また、お湯などによるエアーク缶への加熱は、エアーク缶の破損など事故につながる危険性がありますので、絶対にしないでください。

3. 作業中に塗料がなくなりました
- ペン先に塗料は充填されていますか?  
ガンダムマーカークの通常の場合、缶の奥に塗料補充の弁があり、ペン先を奥に押しこむことで、弁が開きペン先に塗料が補充される仕組みになっており、自動供給されることはありません。ペン先の塗料がなくなると、ガンダムマーカークをエアーク缶から取り外して、ペン先に塗料を補充してください。
  - ガンダムマーカークの塗料は無くなっていますか?  
エアーク塗装は、マーカークとして使用するよりも、比較的多くの塗料を消費します。マーカーク内の塗料が無くなったかな?と思ったら、早めに新しいガンダムマーカークに取り替えてください。
  - ガンダムマーカークの取り付け位置がずれていませんか?  
塗装中の動作や振動によって、エアークブラシのホルダーからガンダムマーカークの取り付け位置がずれてしまう場合があります。ガンダムマーカークの取り付け位置や角度が正しい位置にあるかを確認してください。

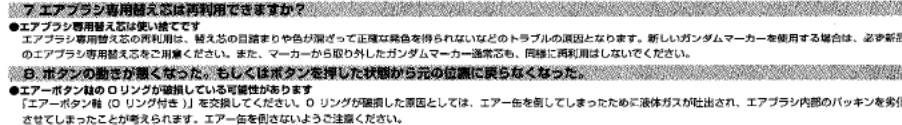
4. 思った方向に塗料が吹き付けられない
- ガンダムマーカークの取り付け角度が正しい方向を指しているか?  
ガンダムマーカークの噴射方向は、エアーク塗装をする場合、取り付けしたガンダムマーカークの芯の方向によって、エアークの噴出方向が変わってしまいます。取扱説明書の前ページを参考に正しい方向になるよう、ガンダムマーカークの取り付け角度を調整してください。
  - ガンダムマーカークの塗料は無くなっていますか?  
エアーク塗装は、マーカークとして使用するよりも、比較的多くの塗料を消費します。マーカーク内の塗料が無くなったかな?と思ったら、早めに新しいガンダムマーカークに取り替えてください。
  - ガンダムマーカークの取り付け位置がずれていませんか?  
塗装中の動作や振動によって、エアークブラシのホルダーからガンダムマーカークの取り付け位置がずれてしまう場合があります。ガンダムマーカークの取り付け位置や角度が正しい位置にあるかを確認してください。

5. 吹き付け面に塗料が溜まっていますか?
- 一度の吹き付けで厚塗りをしていませんか?  
一度の吹き付けで完全な塗膜を形成すると、塗料が乾く前に塗料が重なり、塗料が溜まって流れる原因になります。きれいな塗膜を得るには、薄塗りを乾燥時間を十分とって、数回重ねるようにしてください。また、一度画集中で吹き付けても、同時に塗面に塗料が垂れてくるので、エアークブラシや塗料パーツを細かく動かすようにしてください。

6. エアークボタンを押した直後でエアーク圧が調整できない
- エアークボタンではエアーク圧の調整ができません。  
エアークボタンは、エアーク缶の ON / OFF ボタンであり、エアーク圧が調整できる構造ではありません。エアーク圧の調整は、エアーク調整バルブのエアーク調整ネジで行ってください。また、吹き出しはじめはエアークバルブの内圧が上がっているためエアーク吐出圧が高く、大きめの塗料粒が吹き出すことがありますので、吹き付けはじめは必ず塗面から外してください。

7. エアークブラシ専用給気式は再利用できますか?
- エアーク専用給気式の再利用は、結露の自蒸発や色が濁って正確な塗色を得られないなどのトラブルの原因となります。新しいガンダムマーカークを使用する場合は、必ず新品のエアーク専用給気式をご利用ください。また、マーカークから取り外したガンダムマーカーク専用給気式も、同時に再利用はしないでください。

8. ボタンの動作がスムーズに動かなくなりました
- エアークボタンの Oリングが劣化している可能性があります。  
エアークボタン (Oリング付き) を交換してください。Oリングが硬化した原因としては、エアーク缶を倒してしまったために液体が吹き出され、エアークブラシ内部のパッキンを劣化させてしまったことが考えられます。エアーク缶を倒さないようご注意ください。



# GUNDAM MARKER AIRBRUSH

BANDAI 商品企画 株式会社BANDAI SPIRITS

ガンダムマーカージェアブラシ ハンドピース

MARMOBBY 発売元 株式会社 GSI クレオス ホビー部

## はじめてエアブラシ塗装を楽しむみなさんへ

■ガンダムマーカージェアブラシを使用する前に、以下の注意をよく読んでください。  
●人や動物、まわりの物に吹きかけないこと。●幼児の手の届かない場所に保管してください。●塗装用途以外に使わないこと。

- 屋外で塗装をしましょう。  
●火のそばでの塗装はやめましょう。
- 万一、屋内で塗装する場合は、窓を開けて室内の換気を十分に行いましょう。
- 雨の日や湿度の高い日、風の強い日の塗装は避けましょう。

- 周囲に塗料が飛び散らないように工夫しましょう。
- 塗装中はホコリが付着しないようにしましょう。
- 塗料が乾燥するまで手を触れないようにしましょう。

## 塗装の前に準備するもの

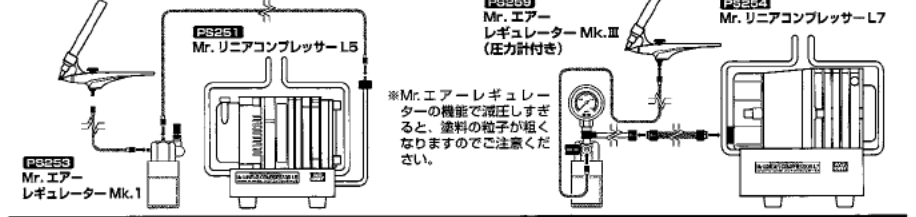
- 身体保護用
- 器具の清掃用
- 汚れ防止用
- 便利な小道具

Mr. ネコの手持ち棒  
Mr. ネコの手ステーション  
Mr. マスキングシル マスキングテープ  
Mr. 塗り皿

マスク 手袋 ティッシュペーパー タオル 新聞紙

## Mr. リニアコンプレッサーとの接続

■ガンダムマーカージェアブラシは、Mr. リニアコンプレッサー L5 / L7 / プチコン / クロプチと接続が可能です。  
※プチコン / クロプチはエアークの関係で、塗料の粒子が粗くなりやすいため、より美しい仕上がりを求められる場合は L5 / L7 の使用を推奨します。またプチコン (キュー) は使用できません。また、エアークホースは別途ご購入ください。

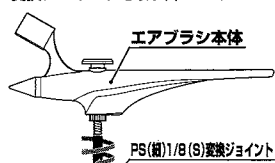


## エアブラシに装着できないガンダムマーカーク

- GP300 ガンダムマーカーク 消しペン
- ガンダムマーカーク スミ入れ用 極細 / 油性
- ガンダムマーカーク スミ入れ用ペン 0.3mmタイプ / 水性
- ガンダムマーカーク 高粘度スミ入れ用 細線 / 専用 / 油性
- ガンダムマーカーク リアルタッチマーカーク リアル仕上げ用 / 水性
- GP01 ガンダムマーカーク スミ入れ用 SHARP 0.3mm

## ガンダムマーカージェアブラシの接続

■エア缶に接続する場合、エアブラシ本体に接続されているPS(細)1/8(S)変換ジョイントを取り外してください。



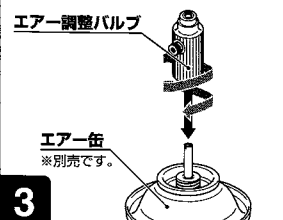
1

■エア調整バルブからエア調整ネジを取り外してください。



2

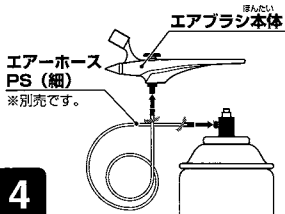
■エア調整バルブをエア缶にしっかりとめ込んでください。



3

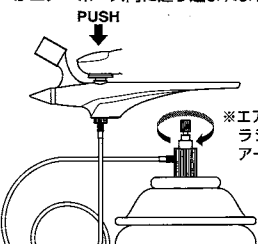
※エアもれの原因になりますので、エア調整バルブ(別売)やエア缶(別売)、エアブラシ本体の接続は、しっかりとめ込んでください。また、Mr. リニアコンプレッサーに接続するときは、PS(細)1/8(S)変換ジョイントはそのままご使用ください。

■エアホースをエア調整バルブとエアブラシ本体にしっかりとめ込みます。



4

■エア調整バルブにエア調整ネジをはめ、エア調整ネジをしめ込むと、エアがエア缶内に送り込まれます。



5

※エア調整ネジをしめ込む時は、エアブラシ本体のエアボタンを押して、エアを出してください。(5秒程度)

## Mr. エアスーパーの取り扱いに注意してください!

■塗装中に Mr. エアスーパー(エア缶)を絶対に倒さないでください。液体ガスが漏れて、エアブラシの故障や凍傷の原因になります。



## ガンダムマーカージェアブラシへの装着

■ガンダムマーカージェアブラシのペン先を塗料皿などに数回押し付けて、ペン先に塗料を充填させてください。



1

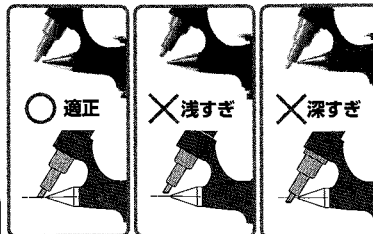


■ペン先に塗料を充填させたガンダムマーカージェアブラシを、エアブラシ本体上部のホルダー部分に差し込んでください。



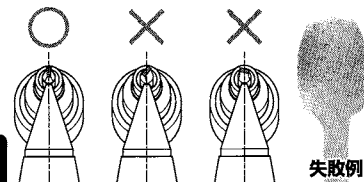
2

■ガンダムマーカージェアブラシのペン先が、エアブラシ先端のエアーノズル前の定位位置になるまでしっかりと差し込みましょう。



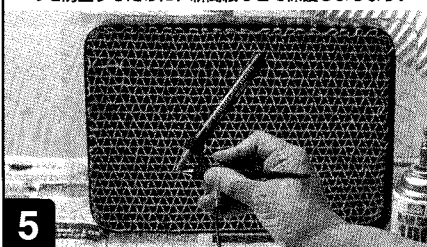
3

■ガンダムマーカージェアブラシの通常芯のペン先の向きが、エアノズルの中心線に対して、斜めや横向きになっていると、エアの通過に偏りが生じて、塗料が吹き出なくなったり、塗料の吹き出し方向がまっすぐに飛ばなくなる場合があります。



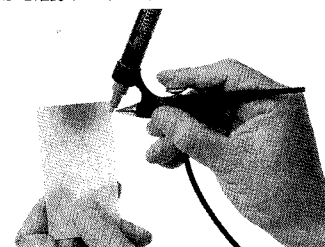
4

■エアブラシを使用する前に、塗装ブース(Mr. スーパーブースコンパクトなど)を用意し、机に塗料が飛散するのを防止するために、新聞紙などで保護しましょう。



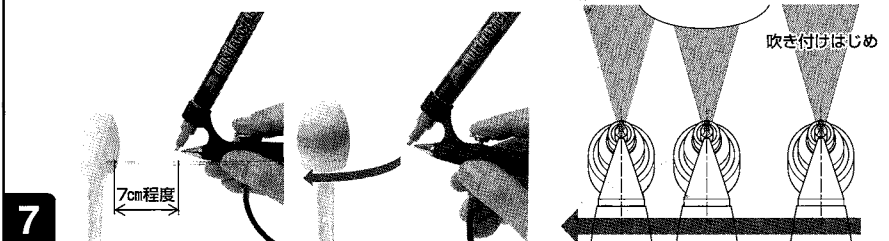
5

■パーツに吹き付ける前に、必ずボール紙やプラ板で試し吹きをして、塗料の吹き付けが正しくコントロールできているかを確認してください。



6

■エアブラシと吹き付け面との距離は約7cm程度を目安としてください。また、吹き付けはじめは吹き付け面から外してください。また、吹き出しはじめはエア圧が高いため、大きめの飛沫が飛び散ることがあるので、必ず吹き付け面から外してください。



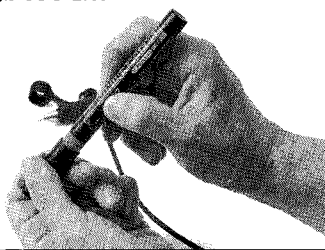
7

■塗料が吹き出なくなったら、ガンダムマーカージェアブラシをホルダーから外して、塗料皿などにガンダムマーカージェアブラシのペン先を押し付け、塗料を補充してください。



8

■塗装作業が終わったガンダムマーカージェアブラシは、必ずキャップをしてから保存してください。エアブラシ本体は洗浄する必要はありません。



9

※ペン先を別売りの[GMA-013]ガンダムマーカージェアブラシ専用替え芯に付け替えて吹き付けると、塗料の流量がセーブされ、飛び散りを防ぐとともに、より短い線を塗装しやすくなります。